

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	神仏と民俗芸能を中心とした歴史的文化的地域資源を継承・利用した山村地域活性化事業		
対象地域	長野県飯田市南信濃和田地区・木沢地区（遠山郷）		
対象地域の概要	   庶民信仰の神々が多く祀られている 再利用をめざしたい旧秋葉道 太枡飯田市域、斜線部南信濃		
提案内容の概要	遠山郷の歴史的文化的資源である多くの庶民信仰の神々を、今日の文化資源として再生し、「癒しの空間」にしようとする事業により和田地区で発足した「神様王国」の一層の整備と活用を図る一方、より山間地域にあたる木沢地区での神仏調査と霜月祭の復元をすすめ、地区の活性化をめざし、旧秋葉道をつなげて地域外との交流を図りつつ、その活用方法を検討する。		
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	平成20年度に選定されたこの事業により、地域の歴史的文化的資源を生かし、「癒しの空間」としての「神様王国」を立ち上げ展開させ、人口減少、高齢化問題、吸収合併され地域の指導者を失ったこの地域の活性化への一助をめざした。 〈おもな活動内容〉 全体の運営のために、各組織の代表者からなる「遠山郷神様王国運営委員会」を設け、実行組織とし、情報の共有化をめざした。その上で、歴史的文化的遺産である多くの神々のうち33の神仏を選び、全体のマップ、説明板、ポスター、ガイドブック、モデルコースの作成のほか、有料ガイドシステムの導入、休憩所の設置や旧秋葉道の整備などをめざした。また、モニターツアーも実施し、来訪者の意見も得た。 モニターツアー参加者（25名、男女構成比は半々、2グループに分かれる）によるアンケート評価によれば、全体としては自然環境の豊かさも含め歴史的文化的背景をもつ神仏自体と神仏を巡るコースについて、80%以上が良好な評価をした。しかし、再訪意向に関して1グループは80%と高率を示したが、他方の1グループは50%に留まった。とくに50%に留まったグループでは、ガイドはもう少し相手に応じた説明をすべきだという意見や、コース中の旧秋葉道の足元が悪くとくに女性高齢者にとり難点となったこと、またコースのマップや標示に不十分なところがあること、神仏の祀られている場所のなかに整備されていないところがあったこと、買物時間などの工夫と欲しい商品の売り切れ不足、などについて複数の指摘があった。それらが問題点であり、解決すべき課題にもなった。 そのほか、来訪者の行動や意見、運営委員会での議論も含め、以下のような個別課題を挙げる。 〈個別課題〉 1. 個々の神仏の石像や碑、案内板、休憩所、トイレ、コース、旧秋葉道の一層の整備の必要性 2. 有料ガイドとしての先進地での実践研修の必要性 3. 霜月祭復元の調査と木沢地区の神仏調査の必要性 4. JR 飯田線平岡駅での鉄道とバスの接続の必要性 5. 来訪者案内所「アンバマイ館」での職員対応の工夫の必要性 6. 来訪者増加の際、神仏保全（具体的には盗難防止）の工夫の必要性 7. 商品開発をすすめることの必要性		
(2) 活動内容の案	活動①：「和田」地区神様王国継続事業 ・「神様王国」広報のためのホームページの改定、パンフレットの改善、案内板の補修、休憩所と旧秋葉道の整備を行う。 ・ガイドの実践研修を高山市や旧古川町で行う。		

	・公共交通とのネットワーク化のため、タクシーバスの運用の仕方、JR イベントへの参加を働きかける。 ・「アンバマイ館」や「休憩所」にスタッフを置き、来訪者への情報提供とガイドの紹介を行う。 ・商品開発を試みる。 ・事業への評価のため、モニターツアーとワークショップを行う。
	活動②：「木沢」地区霜月祭の復元と神仏調査
	・須沢集落で失われた霜月祭の復元と記録化を行う。 ・「神様王国」拡大のための神仏調査を行う。 ・上記を含むマップとガイドブックを作成する。 ・旧秋葉道沿いのネットワーク化を行う。
	活動③：「上村」地区の神仏調査と秋葉道での交流
	・木沢に続く上村地区の神仏調査を行う。 ・木沢とともに旧秋葉道沿いの ネットワーク化を行う。
	活動④：まとめ
	・活動①～③の成果をまとめ、報告書を作成する。
応募団体名	遠山郷神様王国運営委員会
リンク	
部局／担当者名	藤田佳久
連絡先	0532-47-4111
推薦市町村名	飯田市